

12月議会主な討論

議員提案で意見書を審議し、国に提出

平成26年度一般会計補正予算(第6号)

●反対・名取武一

番号法システムの改修費用について反対。個人に対して個々に番号を指定し、税や社会保障の個人情報や管理する共通番号である。個人情報が集積管理され、プライバシーが侵害されることが常態化することが予想される。費用対効果やメリットも示されておらず、徴税強化や社会保障給付削減等に利用されかねない。

○賛成・宮下伸悟

テレワークの設計委託を除く予算には反対ではない。テレワークについては、どうして今回早急に議決を求めてきたのか、持てるカードはすべて包み隠さず、議会に説明してほしい。

●反対・佐久祐司

テレワーク構想に伴うシェアオフィス設計委託料を削除すべき。

■集团的自衛権に関する閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないことを求める意見書案
(提出者：佐久祐司)

●反対・小池勇

高度に政治的かつ防衛上に関わる重要な問題に対し、地方議会は慎重を期すべき。衆議院選挙が判断を国民に委ねるかたちになったため、議会の名の下に結果に影響を与えるような行動は慎むべきと考える。賛成という立場はとれないので反対とする。

○賛成・名取武一

集团的自衛権は、過去にあったアフガニスタン戦争等の戦地に、自衛隊を送り込んで良いというもの。安倍首相の、今後法整備できればアメリカが主導する戦争に自衛隊を参加させたいとの思いが、集团的自衛権の行使の内容に含まれていると考える。

○賛成・加々見保樹

集团的自衛権の権利は有しているが、行使については憲法9条がある限り行使できないというのが、歴代の内閣法制局の見解。安倍首相は考えが近い法制局長官を据えて解釈を変更したことは大多数の憲法学者が異議を唱えている。衆議院選挙で単独過半数を確保した自民党の中で、総理の暴走を止められない状況がある以上、国政の問題と逃げずに地方議会から声を上げることには意義がある。

○賛成・小林市子

安易に時の政府が憲法改正に手をつけてはならず、厳格な手続きが必要と考える。

○賛成・宮下伸悟

閣議決定による集团的自衛権の解釈変更には立憲主義において疑義があり、今後の法整備にも憲法違反の疑いが生じる。集团的自衛権や、自衛権全体を憲法で明確に規定するのであれば、一内閣で勝手に判断するのはではなく、国会で憲法

改正の手続きを正しく踏み、国民に信を問うべきだ。

行政による立法府に対する越権行為であり、それを正すべく意見することは地方議員として何ら問題ないと思われる。

〈賛成多数で可決〉

〔請願・陳情〕

■手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書
〈全会一致で採択〉

■安心・安全の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書
〈全会一致で採択〉

■介護従事者の処遇改善を求める陳情書
〈賛成多数で採択〉

■長野県へ「子ども・障がい者等の医療費窓口無料化」の意見書提出を求める陳情書
〈全会一致で趣旨採択〉

*6月議会で国、県へ同様の意見書を送付済のため。消費税10%増税の中止を求める意見書案
〈賛成少数で不採択〉

採決結果(議案抜粋)

○賛成 ●反対 ×棄権

議会	議員名	三井新成	小池勇	五味平一	小林市子	平出隼仁	宮下伸悟	小池博之	佐久祐司	加々見保樹	名取武一
		議案									
12月定例会	富士見町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	富士見町保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指定管理の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度一般会計補正予算(第6号)の修正案	●	●	●	○	○	○	●	○	●	○
	平成26年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	●	○	○	●	○	●
	集团的自衛権に関する閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないことを求める意見書案	×	●	×	○	×	○	×	○	○	○